金石町地区

［距離］約 5.2km ［時間］約 90 分 ［坂・階段］なし

スタート　大野湊緑地公園～①金石本町交差点～②洲浜橋～③木曳川沿い～④金石湊（船だまり）～⑤秋葉神社～⑥専長寺～⑦本龍寺～⑧宮腰緑地～⑨道入寺～⑩西之宮神社～⑪金石銭五公園～⑫金石小学校前交差点～⑬あけぼの北口交差点～⑭海月寺

～ゴール　大野湊神社

コース概要　平坦な道が多く、潮の香り漂う中で、神社仏閣を見て回ることができるコースです。一部のお寺には、音声案内があり、由来などを確認することができます。宮腰緑地や銭五公園、大野湊緑地公園の庭園を眺めながらひと休みもできます。

⑥専長寺

真宗大谷派の寺院で、寛正 6 年（1465）に、加賀国戸水邑より宮腰邑に移り、仲之道場と称したことにはじまる。松帆榭（しょうはんしゃ）は、銭屋五兵衛の隠居所から移築した茶室と伝わり、毎年 11 月 3 日に茶会が開かれる。本御影石灯籠などが配された庭園も見事。本堂、松帆榭及び山門ほか金沢市指定文化財。境内のクロマツが市指定保存樹（樹高 8m）。

⑨道入寺

天台宗の寺院。飴買い幽霊の伝説が残る寺。

⑭海月寺

曹洞宗の寺院。銭屋五兵衛の三男の墓がある。また、室生犀星が若い頃、この 2 階に下宿し、後に小説「海の僧院」として、ここでの生活を作品に残した。

㋐大野湊神社

神亀 4 年（727）創建と伝えられ、護国八幡神、天照大御神、猿田彦大神（佐那武大神）を祀る神社。元々は海辺に存していたが、建長 4 年（1252）社殿火災にともない現在地に移転されたと伝える。石川県指定文化財である本殿 3 棟をはじめ、多数の金沢市指定文化財を所有している。夏季大祭（夏祭り）は、その規模と雄大さが金沢随一と評価され、神事能とともに金沢市無形民俗文化財に指定されている。駐車場あり。

㋑大野湊緑地公園

銭屋五平衛記念館

④金石湊（船だまり）